

今月は8月に帰国することになった二人の英語指導助手からのメッセージです。



ビクトリア ハーパー
(一の宮中学校担当)



ダニエル セティーナ
(阿蘇北中学校担当)

Goodbye, Aso

私は3年前に阿蘇に来ましたが、今はもうお別れのときとなっていました。そう、8月の上旬にアメリカのルイジアナ州に帰るのです。私は日本を発つことを本当にさみしく思います。

そこで、私が日本で経験したいいくつかの(アメリカでは経験できないような)変わったできごとや、すばらしいできごとを伝えます。

- ・馬刺しや鯨など、いくつかのなじみのない食べ物を食べました。(私が保護団体のメンバーだったらたぶん最低な気分だっただろうけど、これらはとてもおいしかったです!!)
- ・美しい神社やお城を訪れました。(阿蘇神社、熊本城)
- ・桜の木の下で日本酒を飲みながら“お花見”をしました。
- ・阿蘇神社で“火振り”をしました。

アメリカではこういった体験はできません。だから、私の日本での生活はとても特別な時間だったのです。

日本に来る前の私は、映画の中の“日本人”(サムライ、ヤクザなど)しか知りませんでした。でも今は、より現実的な“日本人”像をもっています。決して忘れられないすばらしい友人もできたし、何より、一の宮中学校の生徒たちは私が教えたこと以上のことを私に教えてくれました。日本を発ち、彼らや彼女らと会えなくなることをとてもとてもさみしく思います。

もし、いつか皆さんがアメリカを訪れる際には、私が日本を楽しんだのと同じように、アメリカですばらしい経験をしてほしいです。

いつの日か私は家族や友人とともに再び日本を訪れるでしょう、その日までさようなら。皆さんと出会えたことに感謝します。

私は日本での時間を本当に楽しく過ごすことができました。阿蘇の人々はとてもすばらしい人ばかりで、日本で過ごした1年間は決して忘れられないすばらしい経験になりました。

阿蘇北中学校やいろいろな小学校で英語を教えることで、私はたくさんの児童・生徒と知り合い、楽しく授業を行ったり、学校の周りで会話したりしました。彼らや彼女らはとても元気でいつも私を笑わせてくれ、おかげで私は毎日楽しく通勤することができました。

楽しく英語の授業を行う一方で、私は昨年の秋ごろから部活動にも参加し、剣道部の一員となりました。先生や生徒たちがたくさんのことを私に教えてくれ、私はスポーツを好きになり楽しんで部活動に参加しました。(阿蘇北中剣道部のみんなへ:本当にいろいろとありがとう。みんなが私のためにしてくれたことに本当に感謝しています。)

剣道部に参加するかたわらで、私は時折、吹奏楽部にも参加しました。私はいつも座ってトランペットを演奏していましたが、吹奏楽部のみんなは私をととても歓迎してくれました。私はこの夏帰国する前に、より多くの時間を吹奏楽部のみんなと楽しく活動できればと思います。

私は阿蘇と日本の人々や文化が大好きです。でも残念なことに私は家族の都合で8月にアメリカに帰らなければなりません。わずか1年で日本の人々や文化、学校や生徒から離れるのはとてもさみしいです。

アメリカに帰った後、私はおそらく高校の音楽の先生になりますが、いつか再び日本を訪れることを願い、日本でのすばしかった毎日、出会った人々のことをずっと覚えておきます。そして、日本の思い出はいつも私の心の中に...